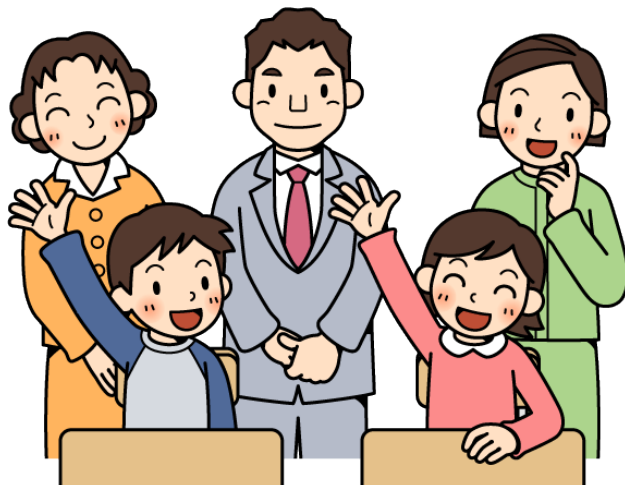


家庭学習の手引き

「学ぶ力」は家庭での学習から



家族の宿題

- ① **子どもの目を見て話そう。**
(親の愛情が心に浸み込みます)
- ② **一緒に家事をしよう。**
(責任感と自立心を育てます)
- ③ **一緒に食事をしよう。**
(特に愛情いっぱいの朝食は、意欲的な子どもを育てます)
- ④ **一緒にあいさつをかわそう。**
(人と優しく関われる子を育てます)
- ⑤ **地域の子どもの成長とわが子の育ちを見つめよう。**
(地域の誰からも愛され、見守られる子を育てます)



「家庭を学びの環境に」

～当たり前のことを当たり前～

氏名()

家庭学習の手引き（1, 2年生 保護者用）

家庭学習の目標

基本的な学習習慣をきちんと身につけさせましょう

小学校 1, 2 年生
はこんな時期で
す。

- ・一人で学習の内容、方法を決めることはまだ無理です。
家族の手助けが欠かせません。
- ・学習の入門期で何でも興味を持ちます。
「よくできたね」「すごいな」ほめ言葉がすばらしい意欲を生みだします。
- ・「早寝・早起き」「愛情のこもった朝食」「朝の排便」など生活習慣の身につけている子は学習習慣が身につけやすいです。

学校では

- ・「読み、書き、計算」など基礎的、基本的な学習が始まります。
- ・繰り返し練習することで力のつく学習内容が多いです。
- ・45 分間の授業が基本です。我慢強く正しい姿勢で座り、
しっかり話の聞ける子に育つよう指導方針をもって取り組みます。
- ・「鉛筆を正しくもつ」「整理整頓をする」「好き嫌いせず食べる」も基本となる学習です。



家庭学習のさせ方

- ① 担任からの「宿題」を最初にさせてください。
(お子さんの様子を把握しながら、そばについて一緒に取り組んでください)
- ② 時間が余ったり本人の意欲で「家庭学習の手引き」児童用から選んでさせてください。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでもかまいません。「机に向かう」習慣を身につけさせてください。
- ④ 勉強が終わったら次の日の準備をさせてください。
(筆箱の中には削った鉛筆が5～6本・下敷きも忘れずに)

家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

家に帰ったら早い目に宿題をすませる習慣を身につけさせましょう。
先に遊びに出た時は帰宅時間を約束させ短い時間でも
「必ず学習する」習慣に導きましょう。

② 学ぶための環境づくり

「机の上には学習用具だけをのせる」
「テレビや音楽は消す」
「ものを食べながら勉強しない」



お子さんが落ち着いた環境で学習効果を上げられるよう、
各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

かていがくしゅうのてびき

1 ねんせい

おうちでべんきょうをするときには

- ① テレビをけして、つくえのうえには、べんきょうどうぐだけだして、よいいをしましょう。
- ② 20ぷんいじょう、がんばってがくしゅうしましょう。
- ③ **はじめに、がっこうのしゅくだいをやってしまいましょう。**
- ④ じかんがあまったり、もっとがんばれるひとは、したの「じゅうべんきょうのすすめ」のなかからえらんでやりましょう。
- ⑤ がくしゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、
あしたのがっこうのよいいをしましょう。
(ふでばこのなかのえんぴつは、けずっていますか?)

じゅうべんきょうのすすめ

しゅくだいのほかに
こんなこともやって
みましょう。

こくごのべんきょう

- ① はっきりしたこえで、ただしくよめるようにれんしゅうしましょう。
(「 」のよみかたは、おはなししているようによみましょう。)
- ② ならったひらがなやかたかなを、ただしくかくれんしゅうをしましょう。
(ひらがなで、しりとりをしながらかくとたのしいですよ。)
- ③ かんじのかきじゅんや、おくりがなにきをつけて、
かくれんしゅうをしましょう。
- ④ ならったもじやかんじをつかって、ぶんをつくってみましょう。
(「は」「へ」「を」をつかって、ぶんをつくれるようにがんばりましょう。)
- ⑤ としょしつでかりたほんを、たくさんよみましょう。



さんすうのべんきょう

- ① あわせて10になるかずをかきましょう。
- ② 20よりおおいかずを、10がいくつと1がいくつにわけてかきましょう。
- ③ たしざんやひきざんのれんしゅうをしましょう。
- ④ テストやしゅくだいプリントで、まちがえたすうじやけいさんを、ノートにただしくかきましょう。
- ⑤ さんすうのきょうかしよのもんだいを、
もういちどやってみましょう。
- ⑥ けいさんカードを1ぷんいないでできるように
ちょうせんしましょう。



かていがくしゅうのてびき

2年生

おうちでべんきょうをするときには

- ① テレビをけして、つくえの上には、べんきょうのどうぐだけ出して、はじめましょう。
- ② 30分から40分いじょう、がんばってしゅうしゅうしましょう。
- ③ **はじめに学校のしゅくだいをさいごまでやりましょう。**
- ④ じかんがあまったり、もっとがんばれる人は、下の「じゅうべんきょうのすすめ」の中からえらんでやりましょう。
- ⑤ しゅうしゅうが終わったら、れんらくちょうを見て、**あしたのしゅうのじゅんぴをしましょう。**

(ふでばこの中のえんぴつはけずっていますか。下じきもわすれずに。)

じゅうべんきょうのすすめ

しゅくだいのほかに
こんなこともやって
みましょう。

こくごのべんきょう

- ① はっきりした声で、正しく、すらすらとよめるようにれんしゅうしましょう。
- ② ならったかん字を書きじゅんに気をつけて書くれんしゅうをしましょう。
よみがなもつけましょう。
- ③ ならったかん字やかなをつかってみじかい文やにつきを書きましょう。
思ったことやお話文(「」)も入れて書きましょう。
「」をつかったお話文もいれて書きましょう。
- ④ 「かん字はかせ」でじ分がちょうせんするきゅうをれんしゅうしましょう。
- ⑤ としよでかりた本をたくさんよみましょう。

さんすうのべんきょう

- ① **たしざんやひきざんのひっさんのれんしゅうをしましょう。**
(けいさんドリルを何かいもやってみましょう。)
- ② **九九のあんしょう**をできるようにれんしゅうしましょう。
- ③ おうちの人と**時計のよみかたやじかん**をだす
れんしゅうをしましょう。
- ④ さんすうのもんだいを自分でつくって、やってみましょう。
(たしざん、ひきざん、かけざんになるもんだい)
- ⑤ テストやしゅくだいプリントでまちがえたしきや
けいさんをノートに正しくかいてみましょう。



家庭学習の手引き（3, 4年生 保護者用）

家庭学習の目標

自ら机に向かう姿勢を育てましょう

小学校 3, 4 年生
はこんな時期で
す。

- ・自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、家族の手助けはまだ必要な時期です。（手放すことを焦らずに！）
- ・好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- ・みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつみられるようになります。家族の温かい助言や励ましの言葉がやる気を起こさせます。

学校では

- ・「総合」「社会」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- ・資料や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることも出てきます。
- ・新しい漢字を、たくさん習います。
- ・算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- ・四則計算（ $+$, $-$, $\times$, $\div$ ）の基礎、基本を徹底して学びます。



家庭学習のさせ方

- ① 担任からの「宿題」を最初にさせてください。
（一緒に取り組む気持ちで、最後までやり終えられたかを必ず家族の目で点検）
- ② 宿題以外の学習にも挑戦させてください。本人の意欲で「家庭学習の手引き」児童用から選んでさせてください。
- ③ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。
（筆箱の中には削った鉛筆が5～6本・下敷きも忘れずに）
- ④ テレビやゲーム中心の生活はさせない。～家族の協力を～
（けじめをつけさせることが自律心や学習への集中心を育てます。）

家庭学習における保護者の役割

- ① **学習時間の確保**
家に帰ったら早い目に宿題をすませる習慣を身につけさせましょう。
先に遊びに出た時は、帰宅時間を約束させ「自ら机に向かう」習慣に導きましょう。
- ② **学ぶための環境づくり**
「机の上には学習用具だけをのせる」
「テレビや音楽は消す」
「ものを食べながら勉強しない」



お子さんが落ち着いた環境で学習効果を上げられるよう、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。また、学習に少しずつ個人差が出てくるころです。他の子と成長を比べて焦るより、昨日のわが子と比べ、「がんばり」を本気でほめましょう。

家庭学習の手引き

3, 4年生

しゅくだいと自由勉強は毎日しよう。

- ① つくえの上をせいとんして、40分いじょう学習しましょう。
- ② はじめに、**学校のしゅくだいをすませましょう。**
- ③ 次に、下の「自由勉強のすすめ」の中からえらんでやりましょう。
- ④ れんらくちょうを見て、あしたの学校のじゅんびをしましょう。
(ふでばこの中のえんぴつは、けずっていますか。下じきもわすれずに)
- ⑤ テレビのニュース番組などを見て、ニュースにかん心を持ちましょう。
- ⑥ 家の手伝いを1つは必ずやりましょう。
- ⑦ 自分からすすんでまわりの人にあいさつをしましょう。

自由勉強のすすめ

- ① はっきりした声で**音読**の練習をしよう。
(何が書かれているかしらべながらよう。)
- ② 漢字ドリルや漢字はかせのプリントなどを使って、ひつ順に気をつけながら**漢字の練習**をしよう。
・「止め」「はね」「はらい」に注意してていねいに書く。
・じゆく語や短文にして書く。
・へんにつくりに気をつけて書く。
- ③ **国語じてん**を使って、意味のわからない言葉を調べよう。
- ④ 教科書の物語や詩をだんらくに気をつけながらノートにていねいに**書きうつし**ましょう。
- ⑤ 図書で本を借りて、たくさんの**読書**をしよう。
- ⑥ 計算ドリルを使って、**計算問題**をといてみよう。
- ⑦ きょう、学校で勉強したことを思い出して、家の学習ノートや自由勉強ノートにもう一度やったり**書きうつし**たりしよう。
- ⑧ テストや宿題プリントで**まちがったところ**をもう一度、書いてやってみよう。
- ⑨ わからないこと、きょうみのあることは、**図かん**などで調べてみよう。

宿題のほかに、
こんなことを
やってみよう。



ここに書かれていないことを自分で考えて
やってみることも、すばらしい学習です。



家庭学習の手引き（5, 6年生 保護者用）

家庭学習の目標

毎日、自力で家庭学習を進める子に導きましょう。

小学校 5, 6
年生はこんな時期です。

学校では

- ・一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど大人の評価を気にします。
- ・自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。
- ・考える力も成長するため、時には大人への反抗も見られます。
- ・得意教科、苦手教科を意識し始めますが、アドバイスにより、意欲や関心が大きく左右されます。



- ・学習内容が多くなる上に家庭から、社会や世界に目を向けた学習もします。
- ・筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- ・資料集や辞典等を使い、自力で調べたり、解決していく学習が多くなります。
- ・学級集団で考えを交流する中で、「学び方」「ものの考え方」を育てます。
- ・算数科では分数や小数の四則計算を基本に、割合、図形、立体など抽象的な内容を学びます。

家庭学習のさせ方

- ① 担任からの「宿題」を最初にさせてください。
(時間に見通しをもって、学習する時間帯を話し合ってください。)
- ② 宿題以外の学習にも挑戦させてください。本人の計画で「**家庭学習の手引き**」**児童用**を参考に選んでさせてください。
- ③ 勉強が終わったら次の日の準備をさせてください。
(筆箱の中には削った鉛筆が5~6本・下敷きも忘れずに)・・・時々、点検してください。
- ④ 中学進学、将来を見据え、今一度、高学年らしい生活のリズムを考えさせてください。
(生活リズムの乱れは勉強嫌いにつながります。夜更かしをさせない、朝食をとらせる、テレビやゲームに流されない、家事分担をする等々)

家庭学習における保護者の役割

- ① **学習時間の確保**
家に帰ったら早い目に宿題をすませる習慣を身につけさせましょう。
先に遊びに出た時は、帰宅時間を約束させ「自ら机に向かう」習慣に導きましょう。
- ② **学ぶための環境づくり**
高度になる学習に、集中して取り組める環境を家族みんなで作ってあげてください。

学習に対する苦手意識が強くなるころです。親の失敗談などを話題にして、自分なりの目標をもって、努力することの大切さを伝えてあげてください。努力を大きく認めて自信を持たせましょう。



家庭学習の手引き

5、6年生

自主的にがんばる学習を毎日しよう！

- ① 1時間から1時間30分以上の学習にがんばりましょう。
- ② **初めに学校の宿題をすませましょう。**
- ③ 次に下の「自主勉強のすすめ」の中からやりましょう。
- ④ 連絡帳を見て、明日の学校の準備をしましょう。**(筆箱の中も点検しよう。)**
- ⑤ ニュースに関心を持ち、テレビニュースや新聞を読もう。
- ⑥ 家族の一員として、責任ある仕事をしよう。
- ⑦ 自分からすすんで周りの人に挨拶をしよう。

自主勉強のすすめ

あと10%の努力を！
努力は貯金されます。

- ① **音読**をする。(読みの上達やの読み取りのめあてを持ちながら)
- ② 漢字ドリルや漢字博士のプリントなどを活用しながら練習をしよう。
(かなづけの方を見ながら漢字が書けるか**自主テスト**を)
- ③ 国語辞典で**意味調べ**。
(辞書を引く前に、意味を予想しておく)(20秒以内で辞書引きできるかな。)
- ④ 熟語を使って、**生活作文や日記**を書く。
- ⑤ ニュースや身のまわりのできごとからテーマを決め、**意見文**を書く。
(新聞の切り抜きを置いておくと出来事がよくわかる)
- ⑥ 教科書の内容を**書き写**したりまとめたりする。
文をまとまりごとに見て、一気に書き写そう。
(何度も見ないようにがんばろう。)
- ⑦ **今日の授業**で学習したことを思い出しながら、**もう一度ノート**に写したり、練習したりする。(疑問は明日の質問に！)
- ⑧ **読書**(長文の作品にも挑戦。作家の名前もたくさん知ろう。)
- ⑨ **都道府県**の位置や産業を調べたり、県庁所在地を覚えたりしよう。
- ⑩ **歴史上の人物**について調べよう。
- ⑪ **四字熟語、慣用句、ことわざ**などを調べて書きだそう。
- ⑫ 勉強に関係のあることや疑問に思うことは、図鑑、事典、コンピューターで調べてみよう。



自分の苦手なことこそ、あなたの宝物。
弱点を見つけたらさっそく、チャレンジ！





この手引きは、6 年間活用しますので、
大切に取り扱いってください。

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
担任印	1 学期						
	2 学期						
	3 学期						
保護者印	1 学期						
	2 学期						
	3 学期						

学期毎に通知簿と共に保護者印をおし、
担任に提出してください。

有田市立田鶴小学校長